

2026年1月4日 ルカ2：22-40

説教題 「神にあってなされたということが、明らかに」

【今日の説教から】

詩篇1篇とヨハネ3章。いずれも悪しき者と正しい者の対比が描かれています。

詩篇において正しい者とは、神様の助言、忠告、目的を幸せと喜び、祝福と考える人たちであり、悪しき人の道に立たず、とどまらず、あざけり、傲慢に語る人たちのところに座らず、とどまり住むことはありません。なぜならば彼らにとっては主の教え、導きと指南とが喜びであり、心の恋い慕う願望だからです。彼は神様の教えを夜に昼に思い、口ずさみます。原語では「うめく」という語が使われます。

御言葉を思い、口ずさむということ、これは常に喜ばしく軽やかな口ずさみばかりではなくて、時にはうめきでもあるということ、それはどういうことでしょうか。

悪しき人の道に立たず、とどまらず、座り込んでとどまり、住むことはない。この表現は、その道にどっぷりと留まる事を指します。主を信頼する者にも、意図せずとも危険を横切ったり、その地に踏み入ってしまう危険があることを示唆しています。うめきもあります。混沌も迷いもあります。しかしうめきながらも私たちは御言葉を口ずさみます。迷いの所、失敗の場所、疑いの地。そこにも救いが残されている。それが私たちの喜びです。一方悪しき人たちは迷いもなく流されて行きます。その道は滅びです。しかし神様はイエス様を通して滅びの道からの救いを与えてくださったのです。いつも光に向けて進みましょう。

皆様、新年のご挨拶を申し上げます。新年寒波、寒い日々が戻ってまいりましたが、お元気にお過ごしでいらっしゃいましたか。

今年も一緒に主を礼拝し、御言葉を愛して聞き従いたいと願います。その結末がいかに素晴らしいものであるのかを年の終わりにまた味わいたいと思います。

今日は詩篇1篇とヨハネ福音書3章が開かれました。

その共通点は正しい者と罪ある者という点です。私たちはこの1年、死かと道を正していたき、正しき平安なる道を進ませていただきたいと思います。

詩篇 1:1 悪しき者のはかりごとに歩まず、罪びとの道に立たず、あざける者の座にすわらぬ人はさいわいである。

1:2 このような人は主のおきてをよろこび、昼も夜もそのおきてを思う。

詩篇において正しい者とは、神様の助言、忠告、目的を幸せと喜び、祝福と考える人たちであり、悪しき人の道に立たず、とどまらず、あざけり、傲慢に語る人たちのところに座らず、

とどまり住むことはありません。なぜならば彼らにとっては主の教え、導きと指南とが喜びであり、心の恋慕願望だからです。彼は神様の教えを夜に昼に思い、口ずさみます。原語では「うめく」という語が使われます。

御言葉を思い、口ずさむということ、これは常に喜ばしく軽やかな口ずさみばかりではなくて、時にはうめきでもあるということ、それはどういうことでしょうか。

悪しき人の道に立たず、とどまらず、座り込んでとどまり、住むことはない。この表現は、その道にどっぷりと留まる事を指します。主を信頼する者にも、意図せずとも危険を横切ったり、その地に踏み入ってしまう危険があることを示唆しています。うめきもあります。混沌も迷いもあります。しかしうめきながらも私たちは御言葉を口ずさみます。迷いの所、失敗の場所、疑いの地。そこにも救いが残されている。それが私たちの喜びです。一方悪しき人たちは迷いもなく流されて行きます。その道は滅びです。

悪しき者の歩み。人をあざけり、自分を上に考え、自己中心であり、傲慢にふるまう心。これは人間の心全体に見られるものです。それらの思いは、救われている私たちの心にさえ少しでも去来するものなのではないでしょうか。

ルターは鳥が自分の頭上を飛来することは妨げようがないが、自分の頭上に巣を作らせないことはできると言いました。罪の心との間断なき戦い。これが私たちに備えられているいのちの道です。

時にうめく時があります。口ずさむというような生半可な状況ではないという時があるのかもしれませんが。主の御個教えは私の心の喜びとひとくくりに言い得ないような時もあるかもしれません。しかしうめいてでも私たちは御言葉に身を避けるのです。時に思い足を引きずるようにして辛うじて御言葉に逃れる。身は罪の返り血を浴びてドロドロに汚れているかもしれません。しかしそれでも、うめいてでも、私たちには御言葉に逃れるという道が残されています。そしてそれが終局的に私たちの喜びなのです。

1:3 このような人は流れのほとりに植えられた木の／時が来ると実を結び、その葉もしぼまないように、そのなすところは皆栄える。

流れのほとりに植えられた木。私たちは、さらさらと流れる小川の兩岸に木が育ち、花を咲かせ、実を実らせる光景を見慣れています。聖書の舞台は必ずしもそうではありません。地表からはどこに水路があるかもわからない、地下深くに水路があるということもあります。木は根を深く深く張って、命の水を求めてその根を張ってその水源にたどり着きます。恵みがない、すぐに答えが得られないと思っても、うめきながらも、自分の不甲斐なさに嘆き、うめき、身もだえしながらも手を伸ばし、祈り求めるところに御言葉が与えられます。

困難な状況の中にも御言葉と共に活路が開かれます。主は求めるものと共にいてくださいます。主は恵みの流れに私たちを良くさせてくださり、育て、実らせ、私たちを枯れ行くがままにはさせず、葉を守り、表情を守り、心を守り、成すことすべてを栄えさせてくださいます。

1:4 悪しき者はそうでない、風の吹き去るもみがらのようだ。

1:5 それゆえ、悪しき者はさばきに耐えない。罪びとは正しい者のつどいに立つことができない。

1:6 主は正しい者の道を知られる。しかし、悪しき者の道は滅びる。

迷いもなく御言葉に頼らず、自己吟味もしないまま進む人は一見迷いのない意志の強い人のように見えますが、その人は根無し草であり、枯れてしまいます。

ヨハネ 3:16 神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。

3:17 神が御子を世に遣わされたのは、世を裁くためではなく、御子によって世が救われるためである。

3:18 御子を信じる者は裁かれない。信じない者は既に裁かれている。神の独り子の名を信じていないからである。

罪ある者は滅びる。それは当然の帰結だ。そのように言い切る聖書。しかしそこで終わるのが聖書ではありません。

ヨハネ 3:16 神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。

聖書は世が滅びないようにとのために書かれた書です。

神様はその愛する一人語を賜るほどに世を、あなたを私を愛してくださいました。それは独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためです。

救いのために用意された避難ルートがせっかく開かれているのに、そこを通らないという手はないのではないのでしょうか。しかし実際にはその恵みのルートに入ろうとしない人たちがいるのです。

3:19 光が世に来たのに、人々はその行いが悪いので、光よりも闇の方を好んだ。それが、もう裁きになっている。

3:20 悪を行う者は皆、光を憎み、その行いが明るみに出されるのを恐れて、光の方に来ないからである。

その暗闇の行いが露見するのが恐ろしい。それは誰にとっても同じです。人の心の内側には汚れたものに満ちているのです。

エレミヤ 17:9 心はよろずの物よりも偽るもので、はなはだしく悪に染まっている。だれがこれを、よく知ることができようか。

(新共同訳)17:9 人の心は何にもまして、とらえ難く病んでいる。誰がそれを知りえようか。

(新改訳) 17:9 人の心は何よりも陰険で、それは直らない。だれが、それを知ることができよう。

マタイ 23:24 盲目な案内者たちよ。あなたがたは、ぶよはこしているが、らくだはのみこんでいる。

23:25 偽善な律法学者、パリサイ人たちよ。あなたがたは、わざわいである。杯と皿との外側はきよめるが、内側は貪欲と放縦とで満ちている。

23:26 盲目なパリサイ人よ。まず、杯の内側をきよめるがよい。そうすれば、外側も清くなるであろう。

23:27 偽善な律法学者、パリサイ人たちよ。あなたがたは、わざわいである。あなたがたは白く塗った墓に似ている。外側は美しく見えるが、内側は死人の骨や、あらゆる不潔なものでいっぱいである。

23:28 このようにあなたがたも、外側は人に正しく見えるが、内側は偽善と不法とでいっぱいである。

ルカ 5:29 それから、レビは自分の家で、イエスのために盛大な宴会を催したが、取税人やそのほか大ぜいの人々が、共に食卓に着いていた。

5:30 ところが、パリサイ人やその律法学者たちが、イエスの弟子たちに対してつぶやいて言った、「どうしてあなたがたは、取税人や罪人などと飲食を共にするのか」。

5:31 イエスは答えて言われた、「健康な人には医者はいらない。いるのは病人である。

5:32 わたしがきたのは、義人を招くためではなく、罪人を招いて悔い改めさせるためである」。

私たちは知っているのです。主は私たちがまだ罪のうちにいたときに主がいつくしみをもって救ってくださったことを知っているのです。

ローマ 5:6 わたしたちがまだ弱かったころ、キリストは、時いたって、不信心な者たちのために死んで下さったのである。

5:7 正しい人のために死ぬ者は、ほとんどいないであろう。善人のためには、進んで死ぬ者もあるいはいるであろう。

5:8 しかし、まだ罪人であった時、わたしたちのためにキリストが死んで下さったことによって、神はわたしたちに対する愛を示されたのである。

5:9 わたしたちは、キリストの血によって今は義とされているのだから、なおさら、彼によって神の怒りから救われるであろう。

3:21 しかし、真理を行う者は光の方に来る。その行いが神に導かれてなされたということが、明らかになるために。」

私たちが救われて、生まれ変わって良きことをすることが出来るようになったのは、統べて主なる神様のおかげです。今年もそのことに感謝して、自分の弱さに目を向けすぎることなく、上を見上げて進もうではありませんか。

◇祈祷；天の父なる神様、今日の礼拝を感謝します。昨年的一年間の主のお守りを感謝いたします。今年も私たちの境遇がいかなるものであっても、私たちの道を確かなものにして、豊かで祝福あふれる道としていてくださいます神様に感謝を申し上げます。あらゆる苦しめる方々を神様の救いと平安の中にお導き下さい。私たちの家族と、地域の方々を祝福して下さい。私たちをお用い下さい。主イエス様の御名によって祈ります。アーメン